

臨床研究へのご協力をお願い

【自主臨床研究表題名】

QTA30 を用いた小児思春期頭痛患者の心理的評価について

【研究目的】

当院の頭痛外来には思春期の子どもが比較的多く訪れます。子どもの頭痛は慢性・連日化し、難治性になることがあり、時に不登校になることが問題です。心身関連の身体症状としての頭痛には、本人の特性、思春期という年齢や発達障害などの併存症が関係することもあります。このような頭痛には鎮痛薬が無効で、医療者側も頭を悩ませる問題となっています。当院では子どもでも容易に回答でき、心身両面の健康度を評価できる QTA30 を用いた頭痛診療を行っていますが、子どもの頭痛診療において QTA30 を用いている施設の報告はありません。限られた診察時間で子どもの心身の状態を評価することが求められる中で、スクリーニングテストとしての QTA30 の有用性を検討することを目的とした調査を行うことにしました。

【研究方法】

2022 年 1 月から 2023 年 12 月までに当院の頭痛外来を初めて受診した 18 歳以下の患者さんを対象とします。調査する内容は、QTA30 のスコア、頭痛分類、慢性連日性頭痛の有無、年齢、性別、併存疾患（神経発達症、精神疾患、心身症など）の有無、不登校／不規則登校の有無などです。これらの調査項目を電子カルテから集積します。なお、本研究は八戸平和病院倫理委員会の承認を得て行います。

【個人情報の取り扱い方法】

利用する情報からは、名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【研究参加による利益・不利益】

電子カルテのデータのみを用いて研究を行うため、患者さんに負担はかかりませんし、不利益はありません。また、データを提供いただいた患者さんに特に利益は生じません。

【お問い合わせ】

研究責任者：石川理恵（八戸平和病院 麻酔科・ペインクリニック）

電話：0178-31-2222